

クリニカルパス委員の業務量アンケート調査から見えてきた課題



市立宇和島病院 看護部 石井友笑



病院概要

UWAJIMA CITY HOSPITAL
市立宇和島病院

南予救命救急センター併設	
災害拠点病院	
DPC病院	
[病床数]	435床
[診療科目]	35科
[病床稼働率]	73.2% (2023年度)
[平均在院日数]	12.7日 (2023年度)

クリニカルパス

[ベンダー]	富士通
[登録パス件数]	138種類
[パス適応率]	29.1% (2023年度)

第20回愛媛県クリニカルパス研究会

COI開示

筆頭演者氏名：石井 友笑

所 属 ：市立宇和島病院

演題発表内容に関連し、筆頭演者に開示すべき利益相反（COI）関係にある企業等はありません。

はじめに

UWAJIMA CITY HOSPITAL
市立宇和島病院

- A病院では、2023年9月よりパス専従看護師を1名配置
- パス委員が担っていたパス監査やデータ収集作業を、パス専従に移行
- パス業務量の把握を目的として、パス委員に委員会に係る業務に関するアンケート調査を実施

業務量の変化や今後の課題が明確化したので報告する

A病院 パス専従看護師の業務

- 全病棟のパス監査（毎日）
- 病棟師長へ毎週（火曜日）未入力状況を報告
- BOM移行作業
- 各種データ集計および提供
- 新規就職者のパス教育
- 書類作成・リンク集・テンプレート作成など

アンケート調査

2023年度 看護部クリニカルパス検討委員会メンバー

副看護部長、看護師長 2 名、看護主任 4 名、看護師 10 名

■ 調査内容（記述式）

- ①パス委員メンバーについて（看護師/委員経験年数）
- ②パス委員活動について（監査/バリエーション分析/新規パス）
- ③パス専従看護師が毎日監査初めてからの業務量の変化
- ④自由記載

■ 調査対象

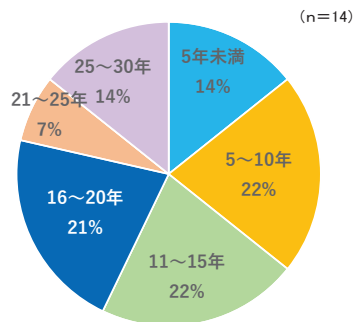
2023年度パス委員14名（副看護部長・看護師長は除く）

■ 調査期間

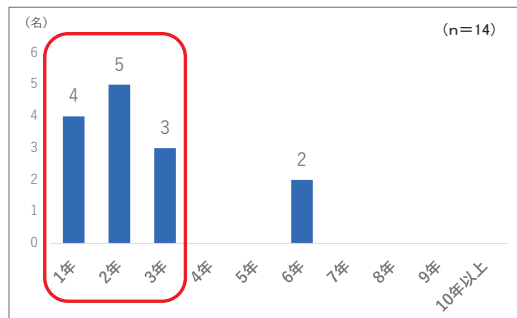
2024年4月11日～4月25日

問 1. パス委員会メンバーについて

看護師経験年数は？

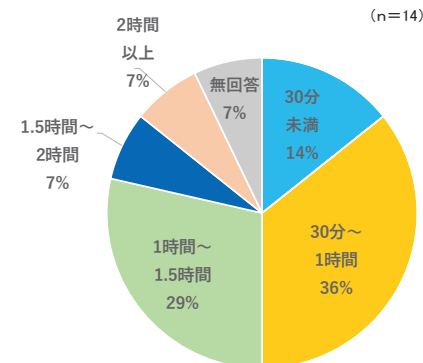


パス委員経験年数は？

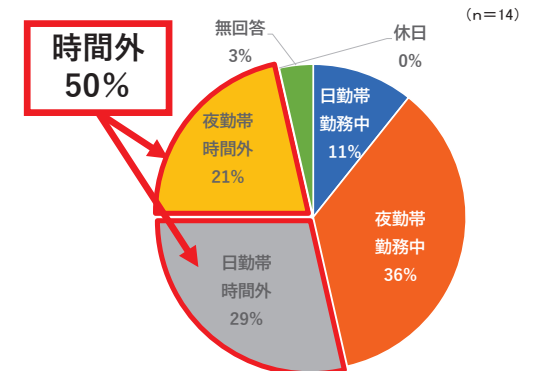


問 2. パス監査について

所要時間は？

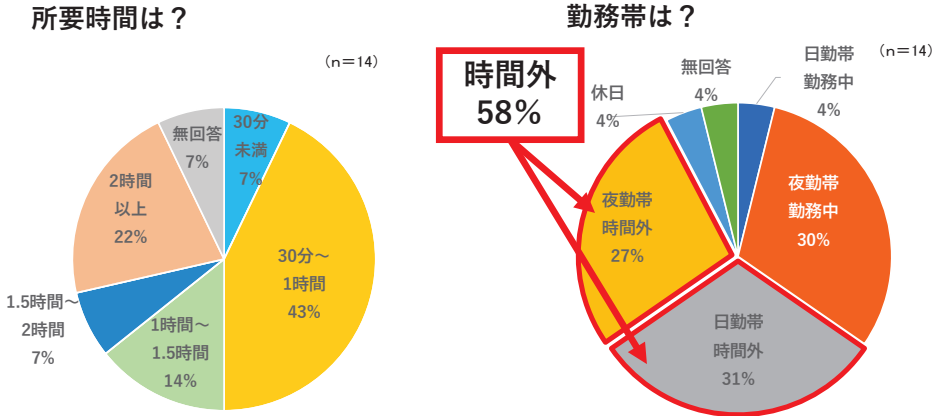


勤務帯は？

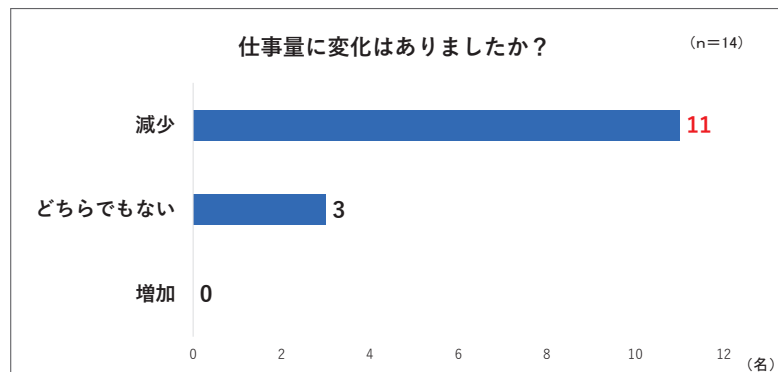


問3. バリアンス分析について

バリアンス収集方法：オールバリアンス方式

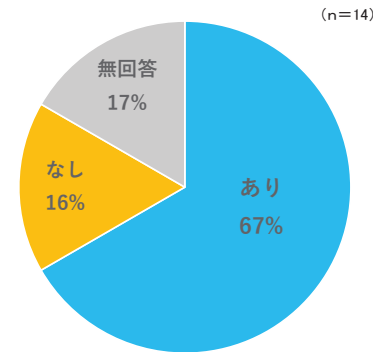


問5. パス専従が毎日監査を初めてからの業務量について



問4. 新規パス作成について

作成したいパスはありますか？



- ・ミエログラフィー (1泊2日)
- ・EUS-FNA (3日間)
- ・頸動脈ステント留置術
- ・正常水頭症 (タッptest)
- ・マイクロ波子宮内膜アブレーション
- ・産婦人科 化学療法
- ・呼吸器 化学療法 (カルセド)
- ・**皮膚科 Nivo療法 (2泊3日)**
- ・ループレコーダー植え込み、除去
- ・アブレーション
- ・ペースメーカー植え込み
- ・DC
- ・急性心筋梗塞
- ・**小児科 手術/検査**

問6. 自由記載 (要望)

- ・パス監査に費やす時間が短縮された、その分パス作成や改訂に時間を使えたら良いと思う
- ・未入力スタッフへ伝えやすくなった
- ・パス専従から、未入力スタッフへ直接院内メールをして欲しい
- ・パスをクラークなどオーダー出来るようになれば、医師もパスが使いやすくなるのではないかな
- ・パス作成する時間の確保や、休日出勤しないような体制作り
- ・パス大会も大切だが、スタッフの人数が少ない状態で行うのは、業務の負担が増える
- ・使用パスがなく監査の経験が無い為、パス運営の中で出来る事があれば一緒に行いたい

(一部抜粋)

アンケート結果後の、未入力削減対策

✓ パス専従から未入力状況の報告

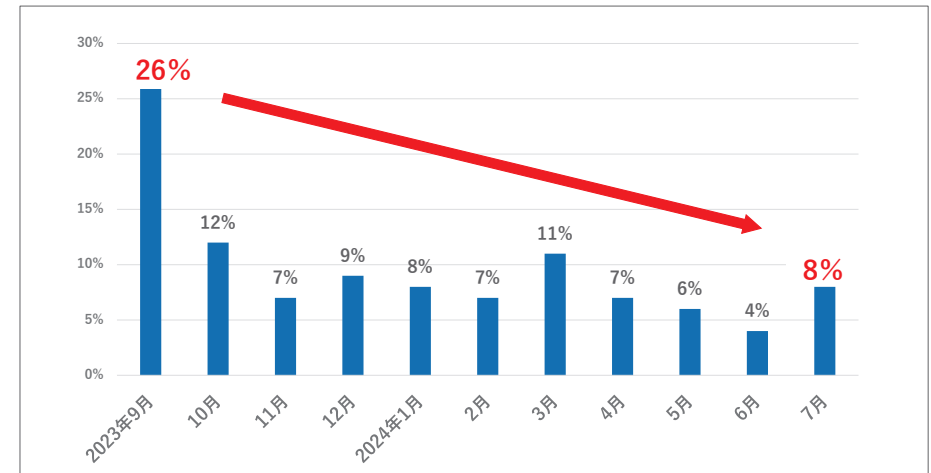
アンケート前：病棟師長・パス委員

アンケート後：病棟師長・パス委員・**未入力スタッフ**

追加対策

未入力スタッフに対し、個人的に院内メールを送る

アウトカム評価未入力率の推移



考察

- アンケート調査は匿名であり、パス委員の要望など率直な意見を聞く事ができ、業務の見直しに繋がった
- パス専従が個別対応する事で、パス委員の負担軽減に繋がった
- 未入力スタッフへ個人的に院内メールすることで、意識付けとなり未入力件数の減少に繋がった

結論

1. アンケート調査を行った事で、業務量が可視化されA病院の現状や**問題点を明確化**することが出来た
2. 定期的な業務の見直しを行い、今後も業務負担軽減を含めた**体制強化が必要**である

今後の課題

1. パス委員と協働し、医師およびコメディカルを含めた**新規パス作成**や、**パス稼働を推進**
2. 看護記録に要する**時間外削減を推進**
3. **BOM移行作業**を進め、パス改訂に積極的に取り組む

今後の課題

4. パス委員としての経験が浅い看護師に対し、**パス教育の充実・サポート**
5. 委員交代後の引き継ぎや、新規パス作成の支援
6. 定期的なフィードバックと改善のサイクルを活用



ご清聴ありがとうございました